

令和3年度（2021年度）八王子市立中学校・義務教育学校（後期課程）使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 音楽（一般）（1／1枚目）

調査の観点	発行者名	教育出版	教育芸術社
<p>1 内容                      (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。                      (2)生徒の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容のおさえ方                      ・「学びのポイント」で指導事項と音楽的な見方・考え方の取り扱いを全学年共通に示し、題材(学びのユニット)による計画的で効果的な学習が展開できるように工夫している。また、共通事項に関わる取り扱いでは音楽に関する用語や記号をページ右側に示したり、キャラクターによって学習活動の補足説明をしたりするなど、きめ細かい配慮がみられる。</p> <p>(2)生徒の発達段階に対する配慮                      ・「うたう」「つくる」「きく」という分野に分け、それぞれに中心となる教材を配置し、音楽的要素をわかりやすく示すことで、知識及び技能を身に付けるための工夫をしている。                      ・歌唱の基礎的な技能を身に付けるため、各学年でLet's Sing!において歌唱の技能に関するページを設け、生徒の発達段階に応じた指導が可能になるよう工夫している。                      ・鑑賞では、写真やイラストが工夫されていて、興味関心を引き出す配慮がされており、聴き比べや体験のページがあり発展的な学習ができるよう配慮している。</p>	<p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容のおさえ方                      ・見やすく、スッキリとした紙面で、学習目標のねらいと音楽を形作っている要素が分かりやすく配置されており、活動の手順が一目で分かるよう工夫している。また、見通しをもった学びが実現できるよう、目次において学習指導要領の内容と各教材の関連を視覚的に確認できるページを掲載している。</p> <p>(2)生徒の発達段階に対する配慮                      ・表現、鑑賞が系統的に配置されており、指導事項が生徒の発達段階に合わせた分かりやすい構成となっている。また、楽典や楽曲の学習内容が基本事項を押さえたもの且つ、発達段階に即したものとなっている。                      ・歌唱では、My Voice!で歌うための基礎知識を分かりやすいイラストとともに、コラムも設け、生徒の発達に配慮し、発展的な指導ができるよう、三年間継続した取り組みになっている。                      ・鑑賞教材では、日本の伝統芸能や諸外国の音楽を発達段階に合わせ、親しみやすく紹介されており、学習に取り組みやすい。また、西洋音楽の楽曲では、作曲・演奏された背景を理解しやすくなるよう工夫している。</p>	
<p>2 構成上の工夫                      (1)重点調査項目                      「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。                      (2)構成・分量等、生徒の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて                      ・主体的・対話的で深い学びを実現するためにACTIVE!や学びのポイントを提示し「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点による学習評価をバランスよく実施できるよう工夫している。ACTIVE!のページでは具体的な学習内容を丁寧に示し、「話し合おう」で自分の考えや感じ取った曲想、曲想と音楽の構造との関わりなどをまとめ交流できるよう工夫している。</p> <p>(2)構成・分量等                      ・歌唱、器楽、鑑賞、創作が分野ごとにバランス良く構成されており、それぞれに説明が細かく資料やエピソードが豊富である。                      ・音楽理論が分かりやすくまとめられていて、基本的な内容が記載されていて授業で活用しやすい。                      ・鑑賞教材の説明が充実していて、写真やイラストにも工夫が見られる。また、西洋音楽と日本の音楽との比較ができる学習を取り入れている。                      ・「音楽著作権」について生徒にとって身近で、将来に必要な学習が学習教材としてもりこまれている。また、「コンピュータと音楽」という項目では、著作権や違法行為を分かりやすく説明している。                      ・「私たちのくらしと音楽」など身近で将来に必要な音楽学習を盛り込んでいる。</p>	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて                      ・主体的・対話的な学習を引き出し深い学びを促すために、キャラクターが学習の課題意識をもたせ、友達と対話・協働しながらの学習をサポートするような構成となっている。また、図や例題を用いて考える観点を例示し、主体的で対話的な学びを引き出す工夫が見られる。また、「深めよう!音楽」というページでは、音楽指導要領の内容の指導事項を学習し、説明やワークシートで深い学びに繋がるよう配慮をしている。</p> <p>(2)構成・分量等                      ・歌唱、器楽、鑑賞、創作が系統的、発展的な構成になっている。創作のページは、発達段階に合った課題を提示し、関心・意欲を引き出すようなレイアウトになっており、主体的に活動できるワークシートになっている。                      ・楽典や楽曲の学習内容が基本事項を押さえた内容且つ、発達段階に即した内容となっている。                      ・鑑賞のページの後に歌唱のページが設けられ、深い学びにつながるような配慮がなされている。また、写真や解説が充実していて分かりやすい。                      ・「ルールを守って音楽を楽しもう!」という項目で、著作権や音楽を利用するとき気を付けることを分かりやすく説明している。また、実際のケースを想定し話し合い活動を取り入れている。                      ・音楽と社会のつながりについて学習するための学習教材が盛り込まれている。</p>	
<p>3 情報活用能力の育成に関する配慮をしているか。                      (1)生徒の情報活用能力を育む構成となっているか。                      (2)生徒一人一人がコンピュータを活用できる工夫がされているか。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成                      ・ICT機器を使って、動画や音声などの情報を視聴、閲覧できる工夫をしている。</p> <p>(2)コンピュータ活用の工夫                      ・情報の種類(見る・聴く・記録する)のピクトグラムを分け、単元ごとにデジタルコンテンツを活用しやすい作りになっている。</p>	<p>(1)生徒の情報活用能力を育む構成                      ・必ず、ポイントとなる箇所にはQRコードがあり、音楽だけの情報にならず、その単元に関することにリンクできるようになっており、興味をもって取り組めるような工夫が見られる。また、調べ学習を行う場合など、手掛かりになるようなヒントとなるページにリンクしており、キーワードとなる言葉を頼りに、生徒自ら様々な側面から音楽に対する学びを深められるよう工夫している。</p> <p>(2)コンピュータ活用の工夫                      ・タブレットなどを利用して、生徒自身が音楽(クラシック)を身近な分野として捉えることができ、自ら進んで学習してみようという気持ちを促すことができる。</p>	
<p>4 使用上の便宜                      (1)教員にとって、使いやすくするための配慮がされているか。                      (2)生徒にとって、読みやすい表現であるか。                      (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ                      ・「学びのユニット」では、学びのねらい、学習する曲や活動、学びの手がかりとなるヒントなどが一つの円のデザインの中に全て集約・整理されている。</p> <p>(2)生徒にとっての使いやすさ                      ・「学びのユニット」では、学びのねらい、学習する曲や活動、学びの手がかりとなるヒントなどが一つの円のデザインの中に全て集約されており、学習の流れがひと目で分かりやすい。</p> <p>(3)地域性                      ・郷土芸能では「東京都」の中の獅子舞を扱っており、それを八王子の郷土芸能に置き換え発展させていくことができる。(ウェブサイト動画を確認できるのもよいところである)</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ                      ・「学習内容」では、新学習指導要領の3観点を意識した表示になっており、指導案作成に活用しやすい。</p> <p>(2)生徒にとっての使いやすさ                      ・単元ごとにワークシートがあり、教科書1冊でコンパクトに活用しやすい。</p> <p>(3)地域性                      ・生活や社会の中の音楽では、発達段階に応じて興味・関心をもって学ぶことができるようになっている。</p>	
<p>5 その他</p>	<p>(1)SNSや情報モラルについて                      ・音楽資料「コンピュータと音楽」にSNSの扱いに関する記載がある。</p> <p>(2)SDGs(持続可能な開発目標)について                      ・特筆なし</p> <p>(3)オリンピック・パラリンピックについて                      ・特筆なし</p> <p>(4)製本について                      ・和綴りで製本され、丈夫である。</p>	<p>(1)SNSや情報モラルについて                      ・特筆なし</p> <p>(2)SDGs(持続可能な開発目標)について                      ・「生活や社会の中の音楽」で仕事と音楽を取り上げ、SDGsの考え方も取り入れている。</p> <p>(3)オリンピック・パラリンピックについて                      ・「国歌・国旗と国際的儀礼」という項目で、オリンピック・パラリンピックやスポーツの国際試合での目的や在り方を分かりやすく説明している。</p> <p>(4)製本について                      ・糸で綴じられ製本され、どのページを開いても安定している。</p>	